

やすらぎ短信

令和5年
11月号

新嘗祭(いなめさい)

来る十一月二十

三日は、新嘗祭が斎行されます。新嘗祭は、宮中で一四〇〇年以上も前から続いている重要な祭儀で、天皇が天照大



御神をはじめとする神々に新穀をお供えし、国家の安寧を祈念され、御自身もお召し上がりになる祭儀です。これにあわせて全国各地の神社では、新穀の収穫を感謝するお祭りが行われます。神道では、お祭りの後に直会（なおらい）といつて、神々へのお供物を食する儀式があります。この「共食」によって、神と人とが一体となり、結びつきを強めることで、ご加護をいただく意義があります。当社においても新嘗祭の日に「新嘗祭並

びに収穫勤労感謝祭」を斎行してまいります。中富良野町の農家より献上された新穀「ゆめぴりか」をはじめ、地元で収穫された農作物や海産物が机いっぱいにお供えされ、収穫感謝の祈りを捧げております。祭典後には、献上された収穫物を婦人部の方々が調理し、参列者と共に直会も行っております。ここ三年間は、コロナ禍により、直会を中止しておりましたが、今年は通常どおりの開催できるよう準備を進めております。今後もこの新嘗祭を通じて、収穫への感謝と生産者への感謝の意を込めて食べ物をお供えする事への大切さを後世へしっかりと伝えていきたいと存じます。



七五三の由来

七五三は、平安時代から伝わる、三歳（男子女子）の頭髪を伸ばしはじめる髪置（かみおき）、五歳（男子）の初めて袴を着用する袴着（はかまぎ）、七歳（女子）のはじめて着物の帯を締める帯解（おびとき）の儀式に由来しています。また、十一月十五日にお祝するようになったのは、江戸時代、五代將軍徳川綱吉が体の弱かった息子、徳松の健康を十一月十五日に祈願したことに由来しています。

七五三参りのご案内

令和五年の該当者（数え年）

- | | | |
|----|---------|----|
| 男子 | 令和三年生 | 三歳 |
| | 平成三十一年生 | 五歳 |
| | 令和元年生 | 五歳 |
| 女子 | 令和三年生 | 三歳 |
| | 平成二十九年生 | 七歳 |
- 十一月末まで受付中（玉串料三千円より）



ピンクリボン運動を展開

境内ピンクにライトアップ

今年も乳がんの啓発と予防のためのピンクリボン運動に賛同し、十月中に毎週一回、午後六時から午後八時までの間、乳神



社を中心に投光器と二〇〇個の照明でピンク色にライトアップ致しました。

十月八日には、難治性乳がんサポートプロジェクトアツピーチ実行委員会が主催する「第三回ピンクリボンde上を向いて」のイベントにも参加させていただきました。このイベントは、全国十五ヶ所で行われるライトアップの様子とメッセージをリレー方式で、ユーチューブを使って生配信するもので、今年も十勝管内で同運動に取り組む、とちかち女性がん患者の集いプレシヤス様と共に病氣

平癒への祈りをライトと照明に込めて配信させていただきました。(配信の様子は下記QRコードからご覧いただけます)また、ピンクリボン月間中に参拝にいられた方へ、自己検診ガイド付きテキストや「ちあばい」(乳房パット)無料配布も行いました。今後も乳がんと向き合う方の心のケアや早期発見への啓発活動が続けて参りたいと存じます。

※第三回ピンクリボンde上を向いて
ユーチューブ生配信の様子↓



第十回癒しの杜作品展開催

去る十月十四日～十五日、社務所にて

「第十回癒しの杜(もり)作品展」を開催、癒しをテーマにした作品が集いました。この企画はコロナ禍の令和三年より、参拝者にゆつくりと心を癒す時間を作ってもらおうと始まった企画で、今回で十回目となりました。下記の六名の作家さんが真心込めた作品を出展、会場はほのぼのとした笑顔が溢れました。ご来場

の皆様をはじめ、出展者、スタッフの皆様にも心より感謝申し上げます。

出展者(敬称略)

- ・癒し工房 燈くともしびく・陶の杜
- ・杜の住人・アルコールインクアート&レジン Hamu hamu (二名)・ひつじづき



発行 浦幌神社社務所
北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一
電話 〇一五・五七六・二四四八